



“地域のことは地域で考えよう”

2018年9月27日

おきぎん県内景況・速報

2018年8月

—県内景況は、拡大している—

■個人消費

スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2018年8月分)

◎2018年8月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、食料品が伸び、全店ベース、既存店ベースともに、前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を下回りました。新車販売台数も、前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注工事の減少などで前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

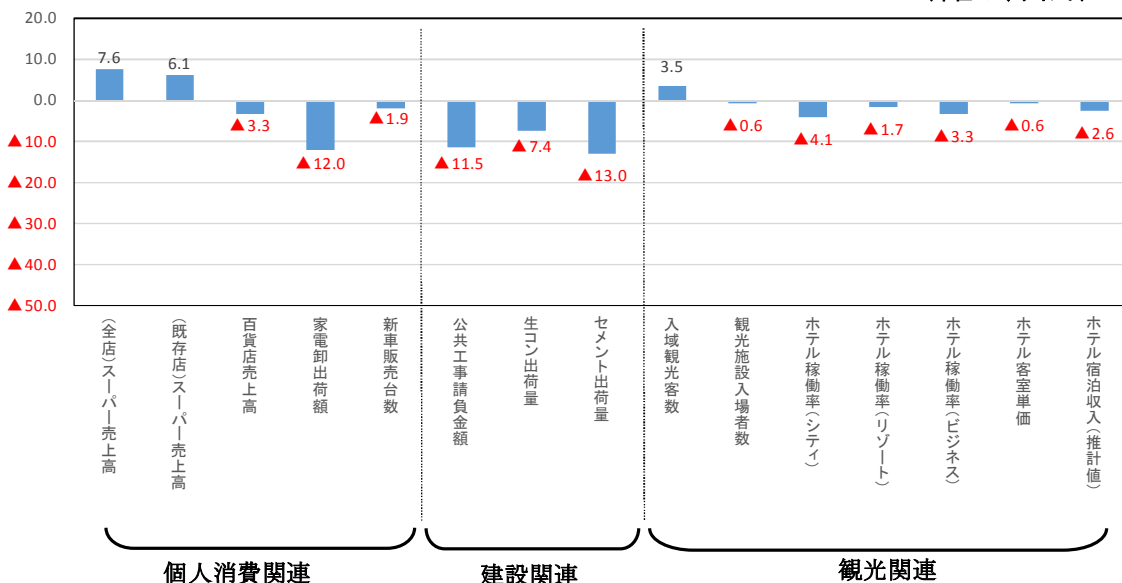
観光関連では、入域観光客数は2ヵ月ぶりに前年同月を上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から55ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位:%、ポイント)



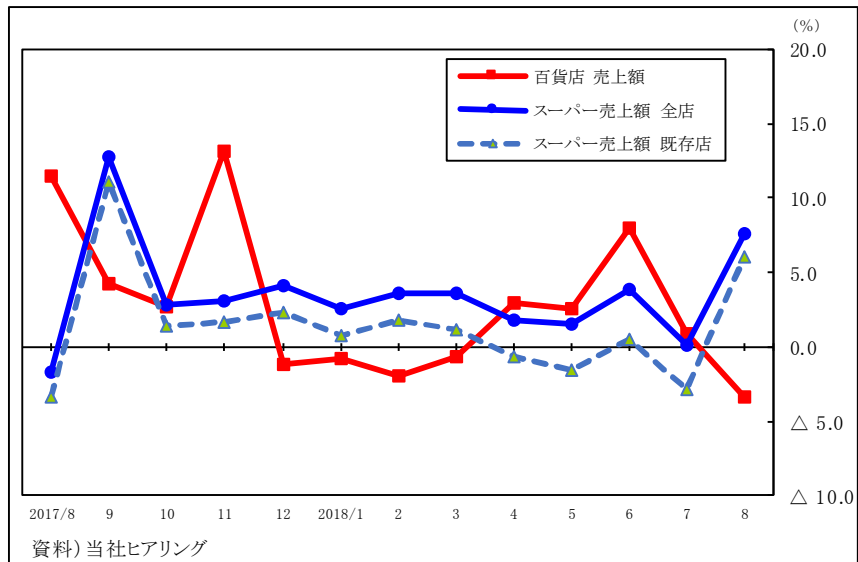


■個人消費： (やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースとも前年同月を上回り、百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2017/8	△ 1.7	△ 3.4	11.5
9	12.8	11.1	4.2
10	2.8	1.4	2.7
11	3.1	↑ 1.7	13.2
12	4.1	2.3	△ 1.2
2018/1	2.6	0.8	△ 0.8
2	3.6	1.8	△ 1.9
3	3.6	1.2	△ 0.6
4	1.8	△ 0.7	3.0
5	1.6	△ 1.5	2.6
6	3.8	0.5	8.0
7	0.1	△ 2.9	0.9
8	7.6	6.1	△ 3.3



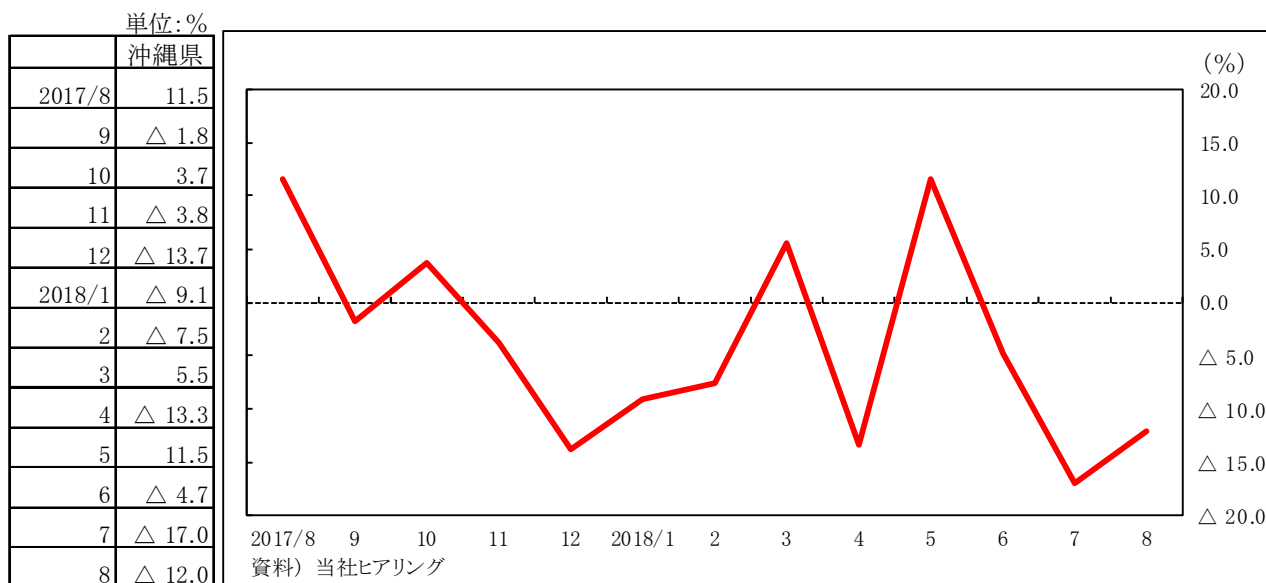
注) 前年同月比

8月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比7.6%増)」は、新規出店効果や、旧盆需要などにより「食料品(同11.0%増)」が伸び、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同6.1%増)」は、前年に旧盆の時期が9月に後ずれし落ち込んだ反動から、食料品の売上が伸び、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、「衣料品(同4.7%減)」、エアコンなどの家電を含む「家庭用品(同2.3%減)」は、前年に比べ気温が低く推移したことなどから、夏物商材を中心に売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。一方、ウエイトの高い「食料品(同9.1%増)」は、旧盆の時期が前年より早まったことから、オードブルなどの惣菜や、青果のほか、お中元ギフト需要などが増加し、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、5ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同3.3%減)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同7.6%減)」は、「紳士服(同3.0%減)」、「婦人服(同10.7%減)」など、販促企画を開催したものの、天候不順などにより集客が伸びず、前年同月を下回りました。また、「食料品(同4.5%減)」は、お中元ギフト需要が7月に前倒しとなったことから、前年同月を下回りました。一方、「雑貨(同8.7%増)」は、売り場のリニューアル効果や、インバウンド需要の増加などにより、化粧品の売れ行きが好調であったことから、前年同月を上回りました。

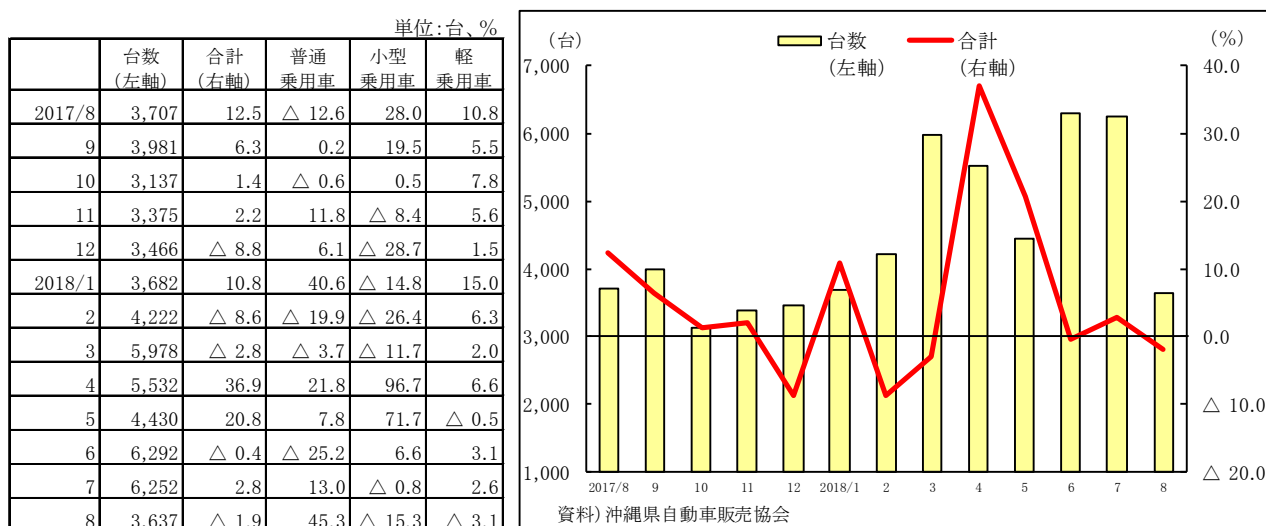
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は3ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、エアコンなどの需要が減少し、3ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 12.0%減)。品目別では、「テレビ(同 17.7%増)」は、4Kテレビなど高価格帯商品の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。一方、「冷蔵庫(同 11.3%減)」、「洗濯機(同 15.2%減)」は、買い替え需要が低迷し、前年同月を下回りました。また、「エアコン(同 38.3%減)」は、前年より気温が低く推移したことから需要が減少し、前年同月を下回りました。「太陽光パネル(同 62.9%減)」は、需要が減少し、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月ぶりに前年同月を下回る。




注) 前年同月比

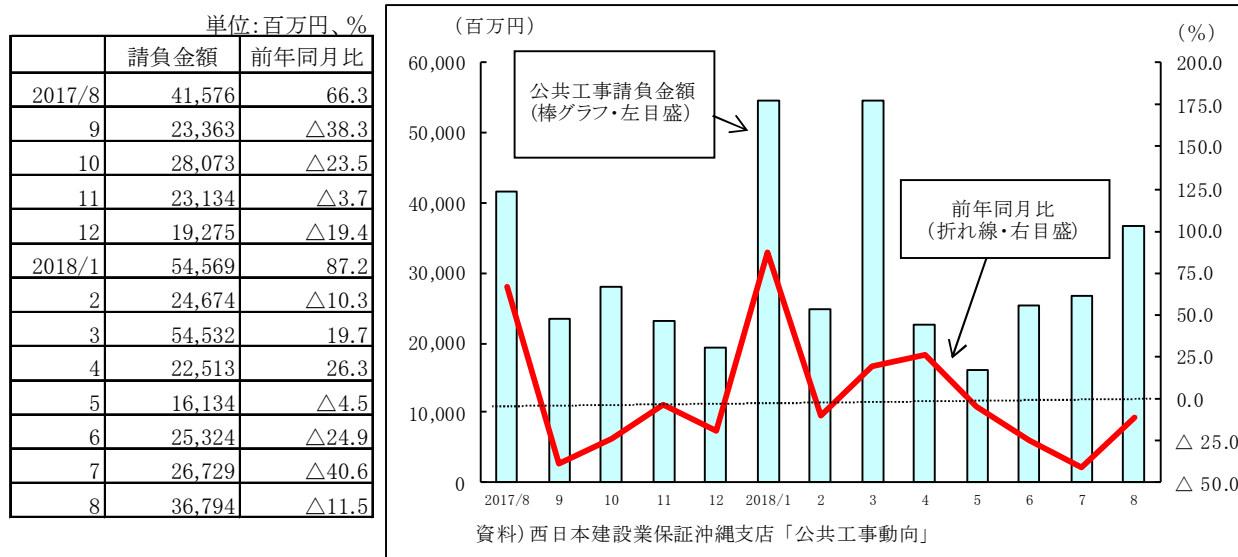
注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,637台(同 1.9%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 45.3%増)」は、自家用車需要が伸び、前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車(同 15.3%減)」、「軽乗用車(同 3.1%減)」は、前年にレンタカー需要が伸びた反動などから、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

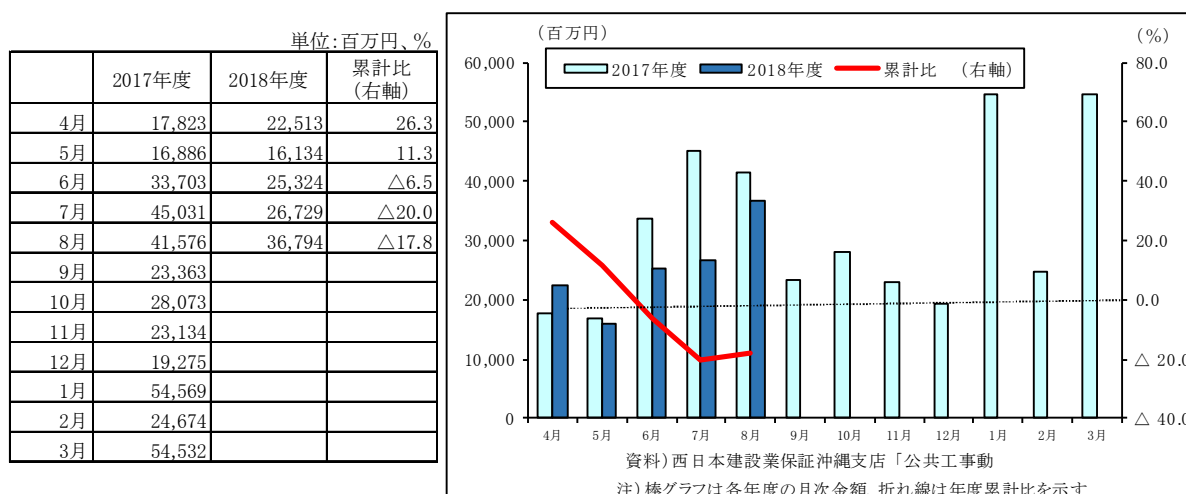
■ 建設関連：  (良い)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



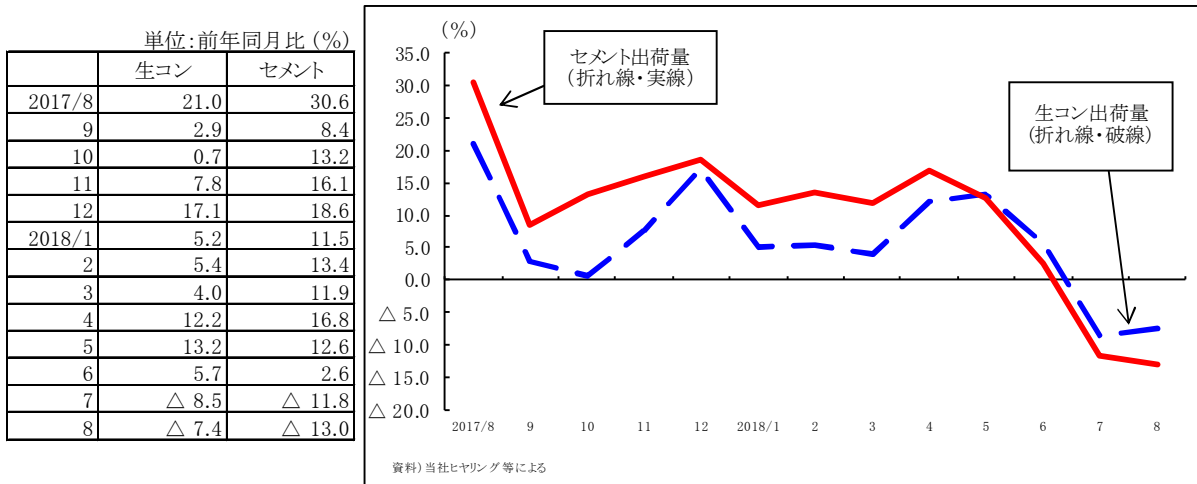
8月の公共工事請負金額は、前年同月比11.5%減の367億9,400万円となりました(4ヵ月連続減)。発注者別でみると、「国(同33.7%減)」や「独立行政法人等(同26.4%減)」、「沖縄県(同37.4%減)」は前年同月を下回りました。一方で、「市町村(同53.3%増)」や「その他の公共的団体(同39.0%増)」は上回りました。

【参考】公共工事(年度累計)・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



今年度累計値では、17.8%減となっています。(上記折れ線グラフ)

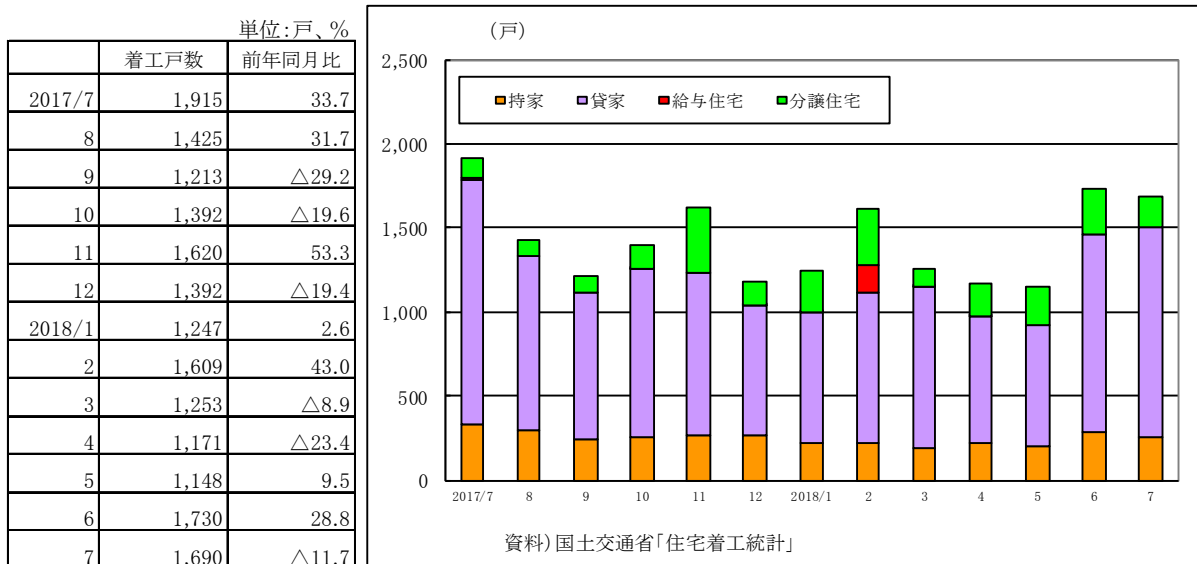
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は 7.4%減と 2 ヶ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 20.6%下回り、民間工事向け出荷も 0.3%下回りました。セメント出荷量は 13.0%減と 2 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資 (7 月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。

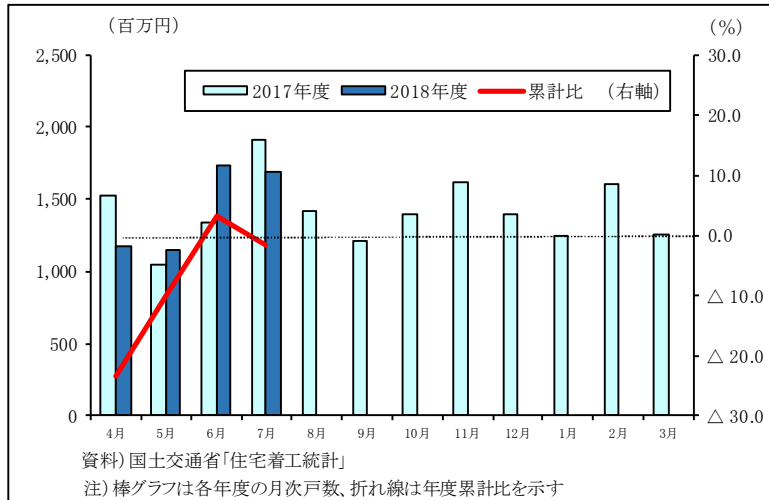


新設住宅着工戸数 (7 月) は、全体で前年同月比 11.7%減の 1,690 戸と 3 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家 (同 14.1%減)」や「持家 (同 22.8%減)」、「給与住宅 (同 100.0%減)」は前年同月を下回りました。一方で、「分譲住宅 (同 46.8%増)」は上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・7月までの着工戸数は前年同期を下回る。

単位:百万円、%

	2017年度	2018年度	累計比 (右軸)
4月	1,528	1,171	△23.4
5月	1,048	1,148	△10.0
6月	1,343	1,730	3.3
7月	1,915	1,690	△1.6
8月	1,425		
9月	1,213		
10月	1,392		
11月	1,620		
12月	1,392		
1月	1,247		
2月	1,609		
3月	1,253		



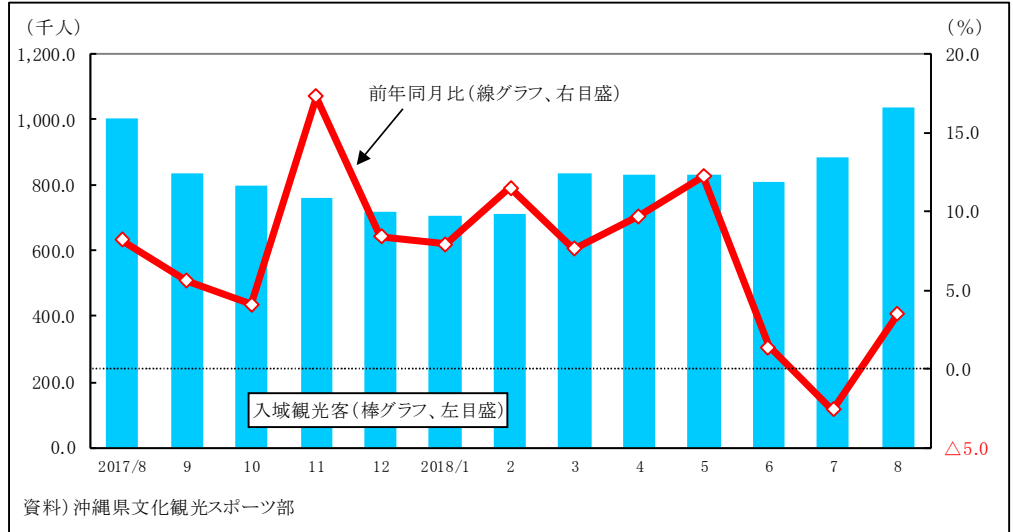
年度累計で見ると、7月までの累計値で1.6%減となっています。



■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

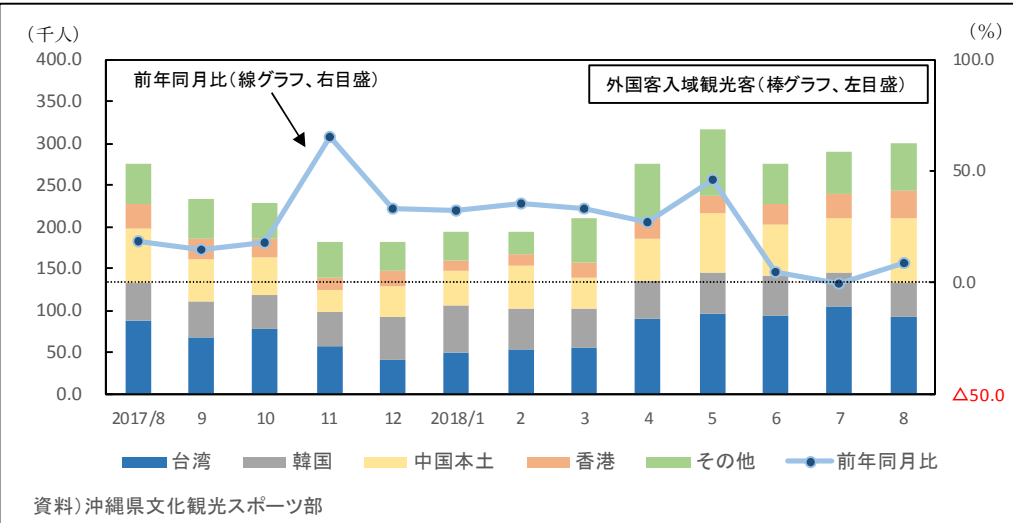
単位:千人、%		
	入域 観光客	前年 同月比
2017/8	1,002.5	8.2
9	837.1	5.6
10	799.3	4.1
11	762.9	17.3
12	718.5	8.4
2018/1	704.3	7.9
2	711.4	11.5
3	837.4	7.6
4	833.2	9.7
5	830.9	12.2
6	809.7	1.4
7	884.1	△2.6
8	1,037.9	3.5



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数・・・2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域 観光客	前年 同月比
2017/8	275.7	18.8
9	233.5	14.8
10	229.2	17.7
11	182.4	65.5
12	183.1	33.5
2018/1	194.4	32.1
2	194.8	35.2
3	210.3	32.8
4	276.8	27.2
5	316.3	45.9
6	275.1	5.2
7	290.8	△0.6
8	300.0	8.8



※外国客は乗務員等を含む

8月の入域観光客数は、35,400人多い1,037,900人(前年同月比3.5%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(8月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同1.5%増)」は737,900人と、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったことなどから、4ヵ月連続ぶりに前年同月を上回りました。

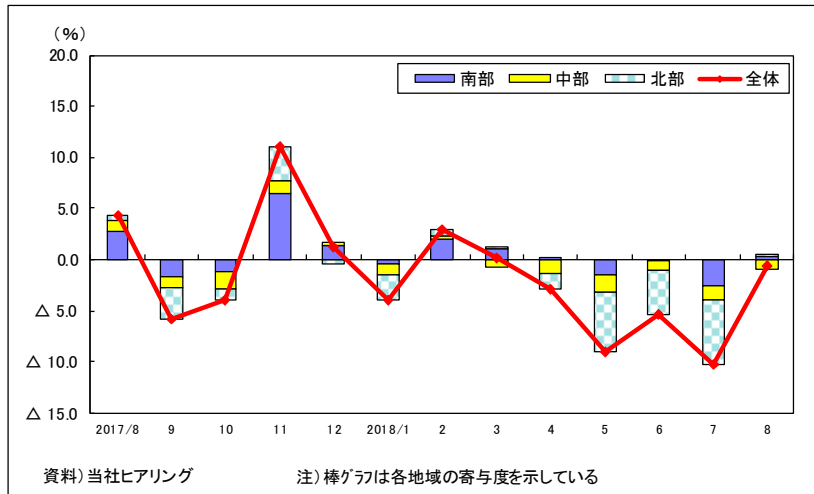
他方、「外国客(同8.8%増)」は、300,000人と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。台風の影響が懸念されたものの、夏休みシーズンによる旅行需要の高まりや、航空路線の拡充等により前年同月を上回りました。「台湾(同2.7%増)」「韓国(同3.2%減)」「中国本土(同17.1%増)」「香港(同17.5%増)」

※乗務員等を除く2018年8月実績＝全体999,100人(同3.5%増)、外国客261,200人(同9.4%増)、国内客は変わらない。

② 観光施設入場者数・・・5ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2017/8	4.3	8.1	9.7	1.0
9	△ 5.8	△ 4.7	△ 10.5	△ 5.6
10	△ 4.0	△ 3.1	△ 14.5	△ 2.0
11	11.1	15.7	9.7	7.3
12	1.2	3.2	3.2	△ 1.2
2018/1	△ 4.0	△ 1.2	△ 7.7	△ 5.1
2	2.9	5.6	1.8	1.2
3	0.2	2.6	△ 7.0	0.1
4	△ 2.9	0.1	△ 11.3	△ 3.1
5	△ 9.0	△ 4.0	△ 14.6	△ 11.7
6	△ 5.3	△ 0.5	△ 8.5	△ 8.4
7	△ 10.3	△ 7.8	△ 12.8	△ 11.3
8	△ 0.6	0.8	△ 7.5	0.1



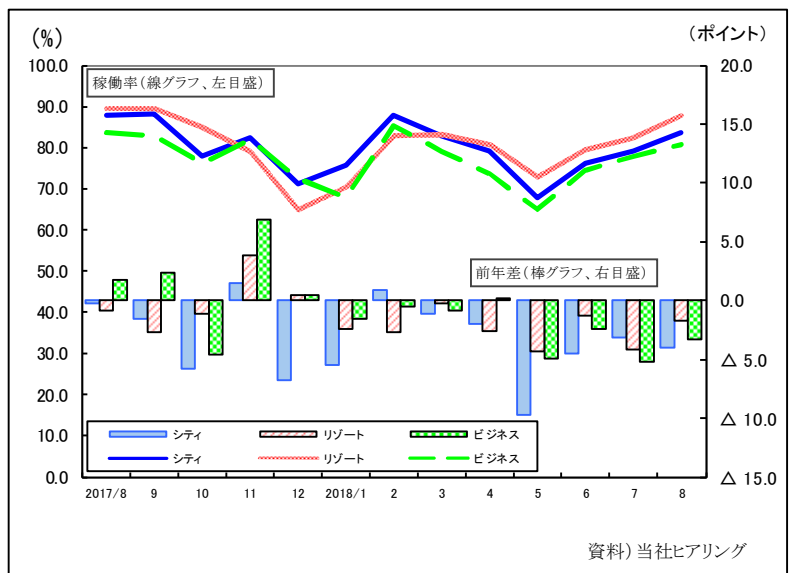
※調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 0.6%減少(5ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 0.8%増と4ヵ月ぶり、北部は同 0.1%増と5ヵ月ぶりに前年同月を上回り、中部は同 7.5%減と6ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2017/8	87.6	r 89.6	83.8	△ 0.2	r△ 0.9	1.8
9	88.0	89.3	82.8	△ 1.5	△ 2.8	2.4
10	77.6	84.9	76.3	△ 5.8	△ 1.1	△ 4.6
11	82.4	78.9	81.8	1.5	3.8	6.8
12	71.2	65.0	72.5	△ 6.8	0.5	0.5
2018/1	75.8	70.5	68.0	△ 5.5	△ 2.4	△ 1.6
2	87.8	82.8	85.2	0.9	△ 2.7	△ 0.5
3	82.8	83.0	79.0	△ 1.2	△ 0.2	△ 0.8
4	78.9	80.5	73.6	△ 2.0	△ 2.6	0.2
5	67.9	72.9	65.0	△ 9.7	△ 4.3	△ 4.9
6	76.0	79.5	74.4	△ 4.5	△ 1.3	△ 2.5
7	79.0	r 82.4	77.8	△ 3.2	r△ 4.2	△ 5.2
8	83.5	87.9	80.5	△ 4.1	△ 1.7	△ 3.3



注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2018年4月については、サンプル調査の都合上、ビジネスホテルは6ホテルとなっている。

注)2018年1月より、シティホテル対象施設数が変更(9⇒8)となったことから、2017年1月以降の数値を遡って改定した。

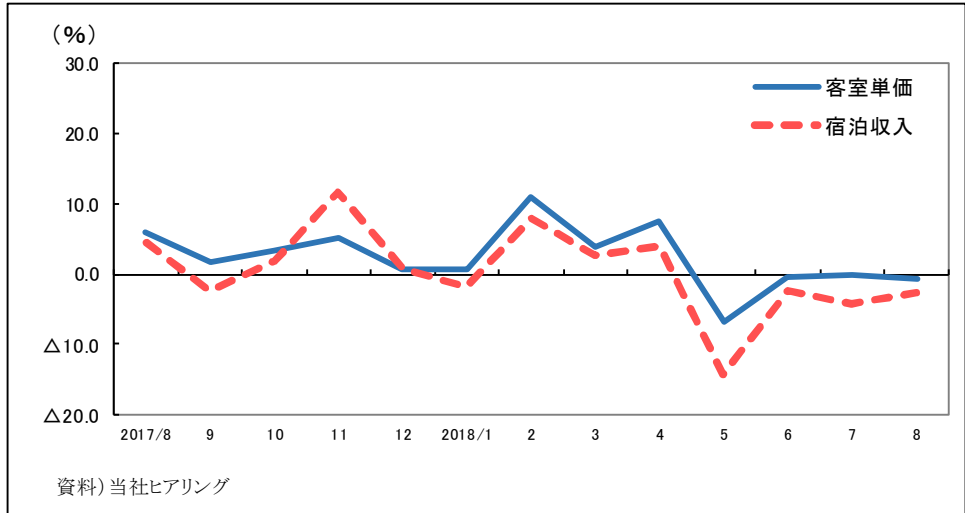
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが 83.5%と 4.1ポイント減少(6ヵ月連続)、リゾートホテルが 87.9%と 1.7ポイント減少(8ヵ月連続)、ビジネスホテルが 80.5%と 3.3ポイント減少(4ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2017/8	r 5.9	r 4.6
9	1.7	△2.3
10	3.4	1.9
11	5.2	11.8
12	0.6	0.9
2018/1	0.8	△1.7
2	11.1	7.9
3	4.0	2.8
4	7.5	4.1
5	△6.7	△14.3
6	△0.5	△2.4
7	△0.1	r △4.2
8	△0.6	△2.6



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2018年1月より、シティホテル対象施設数に変更(9⇒8)となったことから、2017年1月以降の数値を遡って改定した。

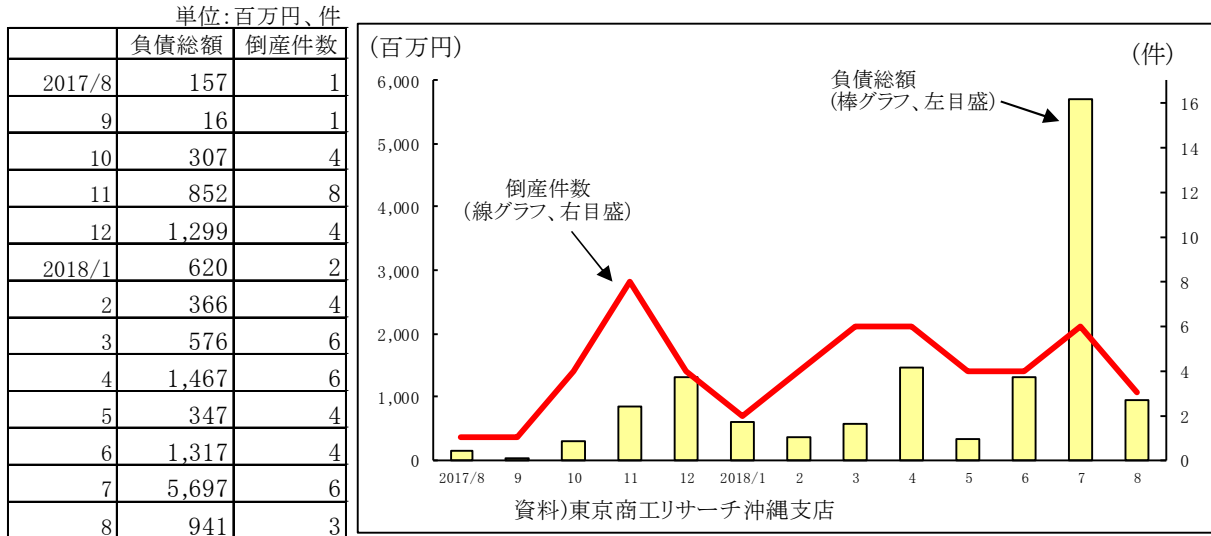
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 0.6%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同2.6%減と前年同月を下回りました。



■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

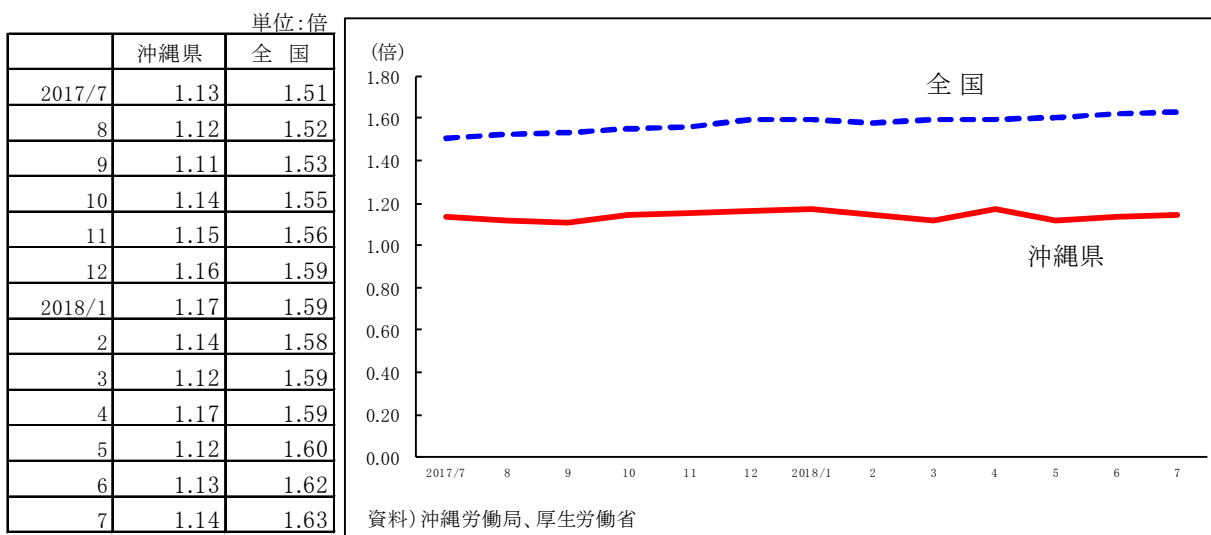


8月の企業倒産件数は、3件(うち大口倒産は2件)となり、同200.0%増と前年同月を上回りました。
負債総額は9億4,100万円となり、前年同月より499.4%増加しました。



【参考】雇用関連： (良い)

有効求人倍率(7月)・・・沖縄、全国はともに上昇。



注)季節調整済

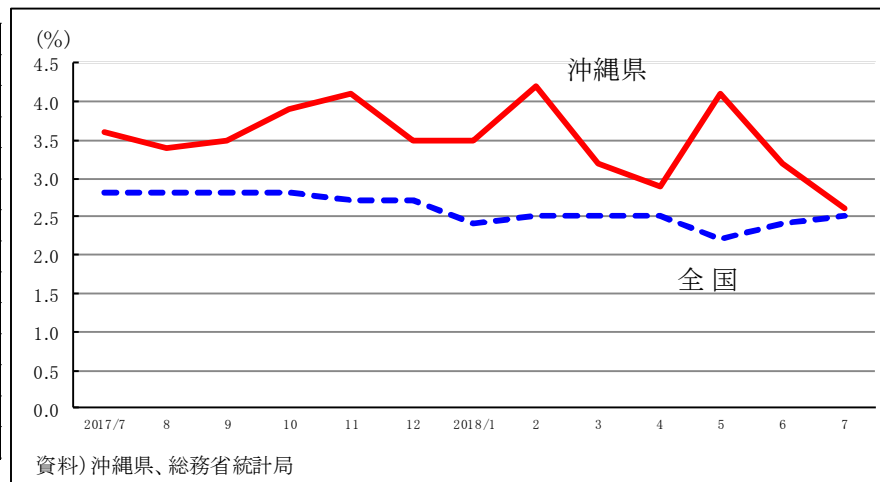
7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.1%増の28,409人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.8%減の24,877人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.14倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。

完全失業率（7月）・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2017/7	3.6	2.8
8	3.4	2.8
9	3.5	2.8
10	3.9	2.8
11	4.1	2.7
12	3.5	2.7
2018/1	3.5	2.4
2	4.2	2.5
3	3.2	2.5
4	2.9	2.5
5	4.1	2.2
6	3.2	2.4
7	2.6	2.5

注) 季節調整済



7月の完全失業率(季節調整値)は、2.6%となり前月より0.6ポイント低下しました。